

# 北部土木事務所栗原地域事務所から 県工事受注者の皆さまへお願い

県では、事故防止を図るために「第6次県工事事務所事故防止対策推進計画」及び「令和6年度工事事務所事故防止対策事業計画」を策定しております。令和6年度県工事事務所事故防止対策事業計画では、工事事務所の発生傾向を踏まえ、事務所ごとに安全管理目標及び具体的な取組を定めて、重点的に実施していくこととしております。

このことから、北部土木事務所栗原地域事務所では、下記のとおり安全管理目標を設定し、目標達成のための具体的な取組を掲げ、事故防止に取り組んでいくこととします。皆様のご協力をお願いいたします。

## 安全管理目標

### 労働災害について

- ・ 事故件数（軽微な事故を含む）、「0件（前年度の水準を維持）」を目標とします。
- ・ 特に、「墜落、転落」に分類される災害防止を重点目標とします。
- ・ また、経験年数の少ない作業員及び高年齢労働者への安全衛生教育を徹底します。

### 公衆災害について

- ・ 「2件以内（前年度を下回る水準）」を目標とします。
- ・ 特に、飛び石による事故と架空線接触事故は「0件」を目標とします。

## 具体的な取組

- 監督職員及び主任監督員による現場点検を月1回行う。
- 「墜落、転落」による事故を防止するため、危険の見える化や4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底と防滑靴の着用及び経験年数の少ない作業員等への安全衛生教育など、安全パトロール等を通じて指導する。
- 物損公衆災害を防止するために、現場における飛び石防止対策、架空線防護や注意表示を徹底する。
- ICT建設等の活用を推進し、現場における建設機械等の錯綜作業を減らし、安全性向上を図る。

## 令和5年の事件事例

- 発生日時：令和6年1月30日（火）15：00頃  
事故の型：橋梁添架物に接触（物損公衆災害）  
被災状況：通信ケーブルダクト破損  
事故状況：バックホウでの掘削作業中に、旋回のためバックホウのアームを上昇させ旋回したところ、橋梁添架の通信施設に接触しケーブルダクトが破損したものの。  
事故原因：危険標識の表示がない現場での漫然作業による事故発生。



## 各種紹介

- 「第6次県工事事務所事故防止対策推進計画」（宮城県事業管理課 HP）  
URL：「<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/dai6jisuisinnkeikaku.html>」
- 「令和6年度県工事事務所事故防止対策事業計画」（宮城県事業管理課 HP）  
URL：「<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/reiwa6jikoboushitaishaku.html>」
- 「職場のあんぜんサイト」（厚生労働省 HP）  
URL：「<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/#>」
- 「エイジフレンドリーガイドライン」（厚生労働省 HP）  
URL：「[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_10178.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10178.html)」

QRコード

